

「健康スコアリングレポート」の開示

- 健康スコアリングレポートとは、健康保険組合の加入者の健康状態や医療費、予防・健康づくりへの取組状況等について、全国平均や業態平均と比較した場合の自組合の立ち位置が見える化したものであり、企業と健康保険組合が従業員等の予防・健康づくりに向けた連携を深めるためのコミュニケーションツールです。
- 企業と健康保険組合が現状認識と問題意識を共有し、コラボヘルスの取組の活性化を図れるように活用していただくことを目的としています。
※健康保険組合のデータヘルスを強化し企業の健康経営との連携（コラボヘルス）を推進するため、厚生労働省・経済産業省・日本健康会議の三者が連携して2018年から作成し、提供しています。
- 今般、当組合に通知された「健康スコアリングレポート」を開示します。当組合では、当該レポートに基づく健康課題や取組状況を事業主と共有し、効果的な対策の立案・実施に活用します。

＜当組合あて「健康スコアリングレポート」の概要＞

（被保険者・被扶養者全体の2024年度実績値に基づく）

項目	全健保組合との比較結果	備考
特定健康診査 ^{※1} の実施率	良好 (＜単一組合順位＞ 82位/1,120組合)	■実施率：94.4% ※厚労省の目標値「90%」を8年連続達成。
特定保健指導 ^{※2} の実施率		■実施率：75.0% ※厚労省の目標値「60%」を達成。
生活習慣病リスク保有者の割合	良好	■肥満・血圧・肝機能・脂質・血糖リスクとも最上位ランク ※ただし肥満、血圧、血糖は前年度より悪化。
適正な生活習慣を有する者の割合	良好	■喫煙・運動は最上位ランク ・食事：最上位ランクまであと 141人 ・飲酒：ワンランクアップまであと 166人 ・睡眠：最上位ランクまであと 105人
1人あたり医療費 ^{※3}	平均と同等	■全国平均指数を1とした場合1.01 ※前年度から約2%増加。

※1. 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づいて、医療保険者（健康保険組合）が、生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象*に行う、メタボリックシンドロームに着目した健診（腹囲、血糖値、血圧等。当健保では、事業主の実施する定期健診と同時に実施）。

*したがって、「特定健診・特定保健指導、健康状況、生活習慣」の評価は40歳以上、被扶養者を含むもの。医療費は、全年齢（被扶養者を含む）を対象。

※2. 上記「特定健康診査」の結果、腹囲や血圧等の数値が一定の基準を超過する者に対して行われる医師、保健師等による生活習慣改善のための支援。

※3. 総医療費を組合の加入者数で除した値を性・年齢補正した値（加入者の性・年齢構成の相違分を補正し、全組合平均を1として指数化したもの）。

以上